



話そう！語ろう！わが家の約束 (1日1チャレンジ)



家庭教育学級の取組紹介～桐が丘幼稚園～

夏休み、在宅取組型の活動に取り組まれている所も多いのではないのでしょうか。幼稚園での在宅取組を紹介します。



【取組のきっかけ】



昨年度、コロナ禍で通常家庭教育学級の開催が難しくなり、在宅取組型や「話そう！語ろう！わが家の約束」の取組を始められました。委員さん手作りのオリジナルの「わが家の約束カード」を利用し、どの家庭でも取り組めるよう、子どもひとりひとりに合った取組チャレンジを親子で設定することで、子どもの成長を知るきっかけにしたいと考えられました。

【主催者の願い】



親子のふれあいや、子どもと向き合う時間を作ることで、家庭のコミュニケーションや愛情・絆を深めたいと考えられました。また、目標を達成することにより、子どものやる気や自信などの気持ちや心を育てたいと願ってみえます。

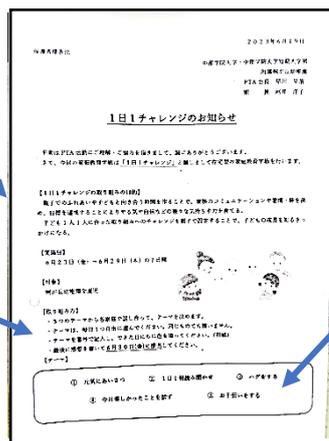
【具体的な取組方法】

- ・家庭教育学級のスタートに当たって、「家庭教育学級のお知らせ」のお便りと「1日1チャレンジ」のカードを全保護者に配付。
- ・6月23日から6月29日までの7日間、毎日親子でその日の1チャレンジを決めてチャレンジして、できた日は親子でカードに色をぬる。
- ・取組が終わったら、感想を記入して、園にカードを提出する。
- ・園では各家庭の取組内容を確認し、コメントをつけて返却する。

「家庭教育学級のお知らせ」のお便り

取組の目的や願い

取組方法の説明

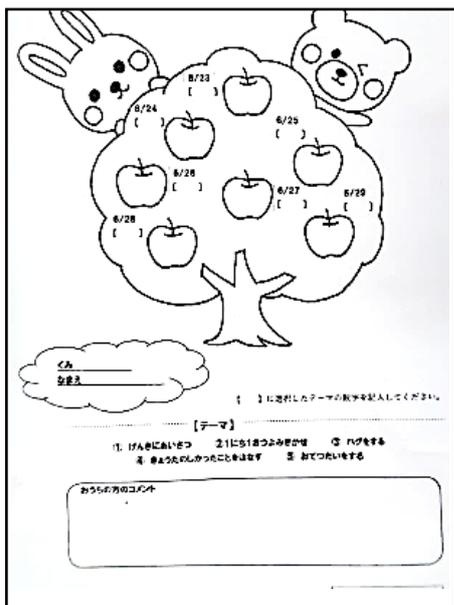


「1日1チャレンジ」 5つのテーマ

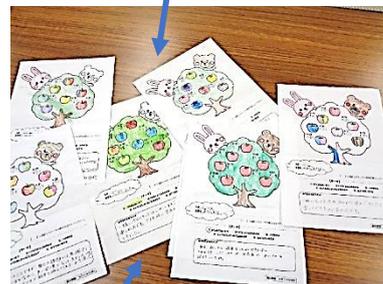
- ① 元気にあいさつ
- ② 1日1冊 読み聞かせ
- ③ 親子でハグをしよう
- ④ 今日、楽しかったことを話す
- ⑤ お手伝いをする

親子で相談して、今日のチャレンジをひとつ決めます

委員さん手作りの「1日1チャレンジ」わが家の約束カード



がんばれたら、親子で好きな色をぬっていきます。



保護者の方が、感想や子どもへのメッセージを記入します。

【保護者の感想】



- ・今日はどのテーマにするかを、自分で意欲的に決めたり、はりきってお手伝いをしたりする姿に、成長を感じました。最終日は、パパに読み聞かせをしてあげることができました。
- ・小さい頃から、寝る前の絵本が習慣になっています。どんなに眠くても、機嫌が悪くても、読み聞かせをしないと寝てくれなくなっていますが、慌ただしい毎日の中で、母子、兄弟で共有できる時間は貴重だなと今回改めて感じました。これからも「今日、楽しかったこと」などを、子どもとゆっくり話せるようにしたいと思っています。
- ・昨年度からの取組ということもあって、今年になってから特にお手伝いをしてくれるようになりました。毎日幼稚園であったことも、楽しそうに話してくれるようにもなりました。あとは、幼稚園で、元気にあいさつできるようになると嬉しいなと思っています。

【主催者の感想】



- ・母親だけでなく父親や祖父母、兄弟姉妹が取組に参加して下さった家庭もあった。温かい家庭で子どもが育まれている様子がよく分かった。
- ・取組のおかげで、忙しい中でも子どもとふれあう時間が増えたという感想が多く、親が子どもの成長を感じられる結果になった。
- ・子どもの体調が悪くずっと欠席していた家庭も、この取組なら参加できたと喜んでみえた。誰にでも取り組める内容にしてよかったと思った。

【取材を終えて】



リーダー研修会の説明や市の担当者の声掛けを前向きに受け止めてくださり、2年目の在宅取組になりました。昨年度は、7つあったテーマを、今年度は5つに絞って実行されました。委員さんのアイデアで各家庭の主体性を大事にされたことで、誰もが取り組みやすい「1日1チャレンジ」になったと思います。





未来を見据えた、 持続可能なまちづくりを考える

家庭教育学級の取組紹介～郡上市立郡南中学校～

郡上市立郡南中学校は、令和4年度より「郡上市 ひと・まちづくり推進プロジェクト SDG s 源流 education 実証校」に指定され、総合的な学習の時間を中核においた教育課程を編成し、持続可能な社会の創り手の育成に取り組んでいます。

「SDG s 源流 education」とは、清流長良川に関わる学習や遊び体験を通して、持続可能な社会を考える郡南中学校独自の教育プログラムで、プロフェッショナルから学ぶ出前授業や、大自然に飛び出して思いっきり遊ぶフィールドワークなど、5年後、10年後を見据えたスケールの大きな取組です。今回は、「郡南中学校 SDG s スクールプロジェクトチーム アドバイザー」の田中信康氏を講師として、6月23日に開催された家庭教育学級講演会の様子を紹介します。

【講演会の目的】



1年生「清流長良川を知る～森・川・海のつながり～」、2年生「清流長良川の恩恵を生かす～自然の豊かさを守りその先へ～」、3年生「持続可能な清流長良川の未来を私たちの手で～郡上の強みを生かした教育旅行～」をテーマに学習している活動を、保護者にも知ってもらい、共に知識を広げ、共に考える機会を持ちたいと願って開催されました。

【講演会の概要】



<日時> 令和5年6月23日(金) 13:10～14:10

<場所> 日本まん真ん中センター 郡上市美並町白山430-4

<講師> サステナブル・ブランド国際会議 ESGプロデューサー
郡南中学校 SDG s スクールプロジェクトチーム アドバイザー 田中 信康 氏

<テーマ> 「未来を見据えた、持続可能なまちづくりを～郡上で考える SDGs の実践～」

<講演会の様子>

郡上の豊かな自然を持続可能なものにしていくためや郡上を盛り上げていくために、考えたことを、実行に移していこう。



【保護者の感想】



- 子どもが1年生なので、SDGsについての講演を初めて聴きました。これからも学校の取組であるSDGsに意識を向け、このような講演会に積極的に参加していきたいと思いました。
- SDGsが地域にとっても大切なことであることを、初めて知りました。身の回りで自分にできることは何かあるのかを、子どもと共に考えていきます。
- ひとりひとりの力は小さいけれど、それぞれがSDGsへの取組についてできることを意識して行動することで、これからの未来を変えることができるのだと感じました。
- 普段はSDGsについて考えることはなかなか無いのですが、講演を聴いて、すぐに自分ができることから、意識して始めてみたいなと思いました。

【主催者の感想】



2030年まで残り7年。目標の達成に向けて、ひとりひとりに何ができるのか考えるきっかけをいただきました。生徒の中には、普段の生活の中で変えていけることがたくさんあると考え、早速翌日の登校時に、道路に落ちていたペットボトルや缶を拾って登校するという姿があったと担任の先生から聞きました。きっと、各家庭の中で、今回の講演会からSDGsについて話題にしていたのではないかと思います。

【活動を通じた生徒の感想】

ジップラインやラフティングなど、様々な体験をして郡上や美並の良さについて知ることができました。また、その体験を活かして郡上、美並の良さを広めるためのPV作りに取り組むことができました。この活動を通して自分達で考え、取り組むことができるようになったと思います。



郡上研修に行って郡上の魅力を知ることができました。来年度は自分達でツアーや旅行の計画を立てて他県の人にも自分達が体験したようなことや郡上の魅力を知ってもらいたいです。

【取材を終えて】



「清流長良川アウトドアフェア」「郡南マルシェ」「郡上魅力満喫ツアー企画」・・・郡南中学校の総合的な学習の時間は、ワクワクするような楽しい活動が満載です。三島校長先生の「子どもたちが地域を愛せば地域の未来は明るい。まずは意識から変えよう。」という言葉が印象的でした。今回の講演会は、そのような思いが、生徒はもちろん保護者の皆様にも伝わり、今後の様々な実践活動につながっていく機会になったと思います。

